

総務環境常任委員会会議記録

日 時 令和2年1月10日（金曜日）
場 所 水戸市議会 第1・第2委員会室

午後 1時30分 開議
午後 1時52分 散会

付託事件

(1) 所管事務調査

1 本日の会議に付した事件

(1) 報告事項

① 水戸市第6次総合計画－みと魁プラン－3か年実施計画（2020年度～2022年度）について
(政策企画課)

2 出席委員（7名）

委員長	小 泉 康 二 君	副委員長	佐 藤 昭 雄 君
委員	滑 川 友 理 君	委員	田 中 真 己 君
委員	高 倉 富 士 男 君	委員	須 田 浩 和 君
委員	福 島 辰 三 君		

3 欠席委員（なし）

4 委員外議員出席者（1名）

議 長 安 藏 栄 君

5 説明のため出席した者の職、氏名

副 市 長	田 尻 充 君		
市長公室長	武 田 秀 君	国体推進局長	小 嶋 いつみ 君
国体推進局 参事兼 国体競技課長	大久保 克 哉 君	秘書課長	川 上 悟 君
政策企画課長	長谷川 昌 人 君	交通政策課長	須 藤 文 彦 君
情報政策課長	北 條 佳 孝 君	みとの魅力 発信課長	沼 田 誠 君
国体総務課長	村 沢 晶 弘 君		
総 務 部 長	荒 井 幸 君	総務部参事兼 人事課長	天 野 純 一 君
総務法制課長	上 垣 外 泰 之 君	行政改革課長	熊 田 泰 瑞 君
中核市移行 推進課長	宮 川 孝 光 君	財産活用課長	谷 津 茂 男 君
財 務 部 長	園 部 孝 雄 君	税務事務所長	小 川 喜 実 君

財政課長	梅澤正樹君	契約検査課長	青山和夫君
市民税課長	安里裕行君	資産税課長	関根豊君
収税課長	佐々木信也君		
市民協働部長	鈴木吉昭君	市民協働部長 市民協働部副部長	横須賀好洋君
市民協働部 技監	大和直文君	市民協働部 技監兼 体育施設整備課長	太田達彦君
市民生活課長	小川邦明君	防災・危機 管理課長	小林良導君
文化交流課長	三宅陽子君	新市民会館 整備課長	篠原芳之君
スポーツ課長	柏直樹君	男女平等 参画課長	石塚美也君
市民課長	高安正紀君		
生活環境部長	川上幸一君	生活環境部 副部長	佐藤則行君
生活環境部 参事兼 ごみ対策課長	篠原勤君	生活環境部 参事兼 清掃事務所長	齋藤利光君
環境課長	林栄一君	衛生管理課長	渡邊徳子君
廃棄物対策 準備課長	亀井俊道君	新ごみ処理 施設整備課長	宮田正一君
会計管理者兼 会計課長	小田木義弘君		
選挙管理委員会 事務局長	石田顕男君		
監査委員 事務局長	綿引信明君	監査委員 事務局次長	和田隆君
議会事務局長	小嶋正徳君	議会事務局 次長兼 総務課長	関谷勇君

6 事務局職員出席者

議事課長補佐	永井直人君	書記	島田祐輔君
--------	-------	----	-------

午後 1時30分 開議

○小泉委員長 御苦労さまでございます。本年も、昨年同様よろしくお願いいたします。

定足数に達しておりますので、ただいまから総務環境委員会を開会いたします。

これより議事に入ります。

それでは、報告事項の説明を行います。

(1)の水戸市第6次総合計画ーみと魁プランー3か年実施計画（2020年度～2022年度）について、執行部から説明願います。

長谷川政策企画課長。

○長谷川政策企画課長 今回取りまとめました2020年度から2022年度までの3か年実施計画につきまして、市長公室政策企画課提出の資料に基づき、概略を御説明いたします。

1ページをお開き願います。

第1、実施計画策定の基本方針につきましては、下から3段落目、県内初の中核市として、自主・自立したまちを目指すほか、徹底した行財政改革に取り組むとともに、質の高い行政サービスを提供していく必要がございます。

今回の実施計画におきましては、みと魁プランに掲げた目標交流人口の実現、時代の変化に対応できるコンパクトな都市構造の構築、魁のまちづくりNEXTプロジェクトに優先的に取り組むとともに、水戸市まち・ひと・しごと創生総合戦略（第2次）に基づく施策を推進してまいります。

4ページをお開き願います。

第4、基本的指標につきましては、計画期間の2022年度までの数値を示しております。表の一番上、区分の欄、目標人口について、2022年度の目標を26万9,600人と設定しております。

7ページにまいりまして、第7、魁のまちづくりNEXTプロジェクトにつきましては、四つのプロジェクトごとに、目標指標、実績と戦略的な取り組みの状況及び今後の主な取り組みを明示しており、優先的かつ集中的に取り組むこととしております。

8ページをお開き願います。

初めに、未来への投資プロジェクトにつきましては、9ページ、戦略的な取り組みの1、安心して子どもを産み、育てることができるよう、表の区分1、保育所待機児童対策の推進や、2、放課後児童対策の推進とともに、4、地域における子育て支援の充実として、全ての市民センターに子育て広場を開設してまいります。

10ページにまいりまして、2、子どもたちの学力向上、生きる力を育むため、表の区分1、水戸市スタイルの教育を推進するとともに、2、快適な学習環境の充実を図るほか、11ページ、3、豊かな人間性を育む学校教育の充実に努めてまいります。

12ページにまいりまして、いきいき健康プロジェクトにつきましては、13ページ、戦略的な取り組みの1、安心して医療サービスを受けることができる環境の充実を図るため、表の区分1、地域医療体制の確立として、主な取り組みの一番下、中核市関連として、新たに医療の安全確保を図ってまいります。あわせて、2、小児、周産期医療体制の確保とともに、3、緊急診療体制の充実に努めてまいります。

14ページ, 2, 生涯にわたって, いきいきと健やかに暮らせる環境づくりを進めるため, 表の区分1, 地域包括ケアシステムの構築や, 2, 健康づくり, 生きがいづくりを進めるほか, 中核市関連として, 新たに3, 保健衛生の充実を図ってまいります。

16ページにまいりまして, 災害に強いまちづくりプロジェクトにつきましては, 17ページ, 戦略的な取り組みの1, 災害予防, 減災に向け, 表の区分1, 浸水被害対策の推進として, 主な取り組みの一番下, 国・県管理河川の整備促進を強く要望するほか, 2, 民間住宅, 市有建築物等の耐震化の推進, 3, 応急給水体制の充実を図ってまいります。

18ページ, 2の災害時に備え, 防災体制とともに, 情報発信等の強化を図るため, 表の区分1, 防災対策・体制の強化として, 主な取り組みの一番上, 国土強靱化地域計画の策定や, 一番下, 災害時における国・県との連携体制の強化を図るほか, 2, 原子力安全対策の強化, 3, 防災情報発信の充実努めてまいります。

20ページにまいりまして, 魅力・活力アッププロジェクトにつきましては, 21ページ, 戦略的な取り組みの1, 観光交流人口の増加に向け, 表の区分1, 魅力ある観光交流拠点の形成として, 主な取り組みの二つ目, 二の丸角櫓, 土塀の整備完成を目指すとともに, 2の戦略的な魅力の創造と情報発信を進めてまいります。

22ページ, 2のまちなかにぎわい, 活力を創造するため, 表の区分1, まちなかの魅力・活力の創造として, 主な取り組みの下から二つ目, 子育て世帯住みかえ支援を拡充するほか, 2, 企業誘致, 創業支援の強化, 3, 芸術文化, スポーツ文化の魅力の向上に努めてまいります。

27ページから各論の主要施策年度別計画となります。

主なものについて, 御説明いたします。

1-1-1, 子ども子育て支援の充実としまして, 28ページの上段になります開放学級待機児童ゼロの達成及び継続とともに, 29ページ上段, 新たに市立幼稚園の再編に取り組むほか, 中段, 保育所の待機児童ゼロの達成及び継続を目指してまいります。

1-1-2, 学校教育の充実としましては, 31ページ上段, 小学校施設の長寿命化型大規模改造を進めてまいります。

34ページにまいりまして, 1-2-1, 地域福祉の充実について, 35ページ上段, 中核市関連として, 新たに社会福祉施設等の適正な運営の促進を図ってまいります。

1-2-2, 高齢者支援の充実としまして, 中段, 安定的な介護サービスの供給に向け, 介護人材の確保に取り組むとともに, 36ページ中段, (仮称)西部いきいき交流センターの整備を進めるほか, 下段, 認知症施策を推進してまいります。

41ページにまいりまして, 1-3-1, 健康づくりの推進について, 中段, 中核市関連として, 新たにこころの健康づくり, 43ページにまいりまして, 中段, 食の安全・安心の確保, 生活衛生環境の確保などに努めてまいります。

45ページにまいりまして, 1-4-1, 危機管理・防災体制の強化としましては, 中段, あらゆる手段を活用した防災情報の伝達に取り組むとともに, 1-4-2, 総合的な防災対策の充実として, 市民との協

働による地域防災を推進するほか、46ページの1-4-3、消防・救急の充実として、南消防署や緑岡出張所の改築を進めてまいります。

47ページ、1-4-4、治水・雨水対策の推進として、中段、雨水排水施設整備プログラムに基づく施策を推進してまいります。

49ページにまいりまして、1-5-1、交通安全・防犯の充実としましては、通学路等における歩道整備を進めてまいります。

50ページ、1-5-2、水道水の安定供給としましては、中段、鉛製給水管の解消に努めてまいります。

51ページ下段、1-5-4、斎場・霊園の充実としまして、新たな斎場の整備とともに、従来型墓地や合葬式墓地の整備を進めてまいります。

52ページにまいりまして、2-1-1、都市核（中心市街地）の強化として、53ページの中段、泉町1丁目北地区の再開発の完成を目指すとともに、55ページ上段、中心市街地における商業施設等の立地促進を図ってまいります。

2-1-2、地域生活拠点の充実としましては、56ページ上段、内原駅南口周辺地区における橋上駅舎等の整備を推進してまいります。

2-1-3、総合交通体系の確立としましては、下段、公共交通空白地区等における移動手手段の充実を図るほか、57ページ下段から60ページまで、都市計画道路の整備及び道路新設改良を進めてまいります。

64ページにまいりまして、2-2-1、戦略的観光の振興としましては、下段、偕楽園公園において民間活力の導入等による魅力の向上を図るほか、65ページ中段、植物公園を再整備し、リニューアルオープンを目指してまいります。

67ページにまいりまして、2-2-2、商業の振興としましては、上段、商店街活性化の支援として、後継者育成への支援等を進めるとともに、店舗開業・出店を推進してまいります。

2-2-3、農林水産業の振興としては、68ページの上段になります、多様な担い手の確保・育成のほか、69ページ上段、国営緊急農地再編整備事業等の基盤整備を進めるとともに、70ページ上段、地産地消を推進してまいります。

71ページにまいりまして、2-2-5、新たな産業の誘致、育成としましては、ベンチャービジネスの育成・支援や企業立地の促進等に努めてまいります。

72ページ、2-2-6、就労環境の充実として、UJIターンや若い世代の地域雇用の促進を図ってまいります。

73ページにまいりまして、3-1-1、歴史的資源の保全と活用としまして、中段、弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史まちづくりを進めてまいります。

74ページ、3-1-2、芸術・文化の振興としましては、新市民会館の整備・完成を目指すとともに、下段、プロスポーツチームとの連携によるにぎわいづくりを推進してまいります。

76ページにまいりまして、3-2-1、地球環境・生活環境の保全と向上としまして、新たに気候変動への適応策を含む地球温暖化対策実行計画の策定を進めてまいります。

77ページ、3-2-2、潤いある水辺環境の形成としましては、霞ヶ浦導水事業を活用した桜川・千波

湖の水質浄化を促進するとともに、公共下水道の整備に取り組んでまいります。

80ページにまいりまして、3-2-3、緑豊かな空間の形成としましては、下段の（仮称）東部公園の整備を進めるとともに、82ページ上段、森林公園の再整備を推進してまいります。

3-2-4、循環型社会の構築としましては、83ページ上段、第三最終処分場の整備完成を目指すとともに、下段、中核市関連として、新たに産業廃棄物の適正処理を推進してまいります。

87ページにまいりまして、4-1-1、地域コミュニティ活動の推進としまして、下段、千波市民センターの移転改築の完成を目指してまいります。

89ページにまいりまして、4-1-4、スポーツ・レクリエーション活動の推進としましては、90ページの上段、全国高等学校総合体育大会を開催してまいります。このほか、男女平等参画社会に向けた活動を初め、国際交流活動や平和活動、93ページにまいりまして、行財政改革を推進してまいります。

95ページからの第2、施策の概要につきましては、みと魁プランの施策の体系に基づきまして、計画の内容を記載しておりますので、後ほど御参照願います。

続きまして、ページが飛びまして206ページをお開き願います。

第3、財政計画のうち、施策別普通建設事業費総括表の下段になります普通建設事業費の今回の3か年合計は902億3,790万円、一般財源は115億7,200万円としております。これらの事業費内訳につきましては、208ページから第4、施設整備計画をお示ししておりますので、後ほど御参照願います。

説明は以上になります。よろしくお願いたします。

○小泉委員長 それでは、内容について御質問等ございましたら、発言願います。

田中委員。

○田中委員 今年もよろしくお願いたします。まず、最初に基本的指標というのが4ページに出ておりますが、私の記憶では、過去の3か年計画では、目標人口というのは基本的にふえるものであったかと思いますが、来年度、令和2年度については、27万人と微増ですが、それ以降、減少傾向になる見込みのようですけれども、これまでの経過からすると、現在どういう状況なのかというのをまず聞きたいと思います。

それから、もう一つは、17ページに災害関係の取り組みが載っておりますが、12月議会でも多くの議員さんが台風第19号の被害対策としてかなり詳細な質疑を行ったわけですが、この災害を受けて、何か新たに水戸市として3か年に位置づけたような施策はないのか。具体的にこの点を強化するという部分があれば、詳しく御説明いただきたいなというふうに思います。

○小泉委員長 長谷川政策企画課長。

○長谷川政策企画課長 まず、1点目の人口に関する御質問でございます。

4ページの基本的指標の目標人口の設定の考え方でございますが、2019年度の見込みとしましては、資料に書いてありますように26万9,660人と、これまで約27万人で微増微減を繰り返してきたというところでございます。今回2020年度については、27万人という目標設定をしまして、各種施策の執行等を図ることによって達成していきたいというふうに考えております。2022年度につきましては、出生数の減少に合わせて、高齢者の方がお亡くなりになる数が上回る自然動態そのものの減少幅が広がっていくと、そういった状況を踏まえまして、減少させているというような見込みで、目標人口の設定をさせてい

ただいたというところがございます。これまで、ずっと増加というようなこともございましたが、6水総の中でも、令和5年度の目標年次は、減少するというような目標人口を設定しております。人口については、そういった状況でございます。

災害関連でございますが、16ページ、17ページ、災害に強いまちづくりNEXTプロジェクトというものがございます。こういった中で、昨年の台風第19号等も踏まえまして、当然、国・県管理河川の整備促進を強く要望する。先ほど説明しましたように、災害時における国、県との連携体制の強化等を図りながら、河川、支川等の治水対策、そういったものにも今後力を入れていくというような中身でございます。

○小泉委員長 田中委員。

○田中委員 わかりました。その関連ですと、45ページに、危機管理・防災体制の強化ということで、各論が出ております。その中で、国土強靱化地域計画の策定というのが来年度に入っているんですけども、これは、具体的にはどういったイメージ、どういった項目、例えば災害といってもいろんなパターンがあるわけですので、その計画というのはどういったものができ上がる見込みなのか、その点もあわせてお聞きしたいと思います。

○小泉委員長 長谷川課長。

○長谷川政策企画課長 45ページの国土強靱化地域計画というものでございますが、今後策定を進めていく中で詳細は明らかにしていくことになるかと思いますが、こちらの計画については、今回の台風による豪雨、あるいは地震、そういった大規模な自然災害等に備えた施策というものを、当然市民生活に関する分野で、行政機能に関する部分では都市インフラ、さらには産業、経済、そういったものが、機能が損なわれないような計画を総合的にハード、ソフトの両面から取り組んでいくために策定をするものでございまして、詳細は次年度以降に決めてまいります。

○小泉委員長 田中委員。

○田中委員 大きな災害があった直後でもありますので、実効性のあるような計画にするべく、教訓を踏まえた計画づくりをしていただきたいと思います。

あわせて、もう一つだけ聞きますと、説明は特になかったんですけども、56ページに、公共交通関係の施策が列挙されていますが、通年ベースで、それぞれやるよというような感じかと思うんですけども、総務環境委員会でも、デマンド型交通の視察などもさせていただきましたが、公共交通空白地区における移動手段の充実であるとか、公共交通体系の構築に向けた取り組みの推進ということで、それぞれ1,000円タクシーなども地域的には始まっているわけですけども、何か年度を区切って具体的に地区をふやすとか、そういったもう少し具体的な計画であっていいんじゃないかなというふうな印象を持ったんですけども、その点については、特に下から2段目の公共交通空白地区における手段の充実という点は、どういったことを考えているのか、促進を求める立場でお聞きしたいと思うんですが、御答弁をお願いしたいと思います。

○小泉委員長 須藤交通政策課長。

○須藤交通政策課長 田中委員からの御質問にお答えいたします。

こちらの計画に出ております公共交通空白地区等における移動手段の確保につきましては、1,000円

タクシーの導入というものを想定してございます。現在3地区におきまして、小学校区単位で、地区会単位で、3地区におきまして1,000円タクシーの導入を進めているところでございますけれども、この1,000円タクシーを全市的に導入していくという考え方の中で、特に市街化調整区域を中心とする郊外において、導入してまいりたいと考えております。具体的には、地区会単位でいきますと11地区を想定しております。現在まだ3地区しか導入していないという中で、今回の今後3か年の実施計画の中で、11地区全てに導入を目指してまいりたいと考えております。

以上です。

○小泉委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小泉委員長 では、特になさうですので、この件について終わります。

以上で報告事項を終わります。

それでは、以上をもちまして、本日の総務環境委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午後 1時52分 散会